

十三地区漁業集落排水処理場 屋根改修工事 設計図

I N D E X			
A 建 築			
A-00	インディックス	04	屋根平面図
01	特記仕様書-1	05	立面図
02	特記仕様書-2		
03	外部仕上表・案内図・建物求積図・求積表		

十三地区漁業集落排水処理場屋根

改修工事特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所

青森県五所川原市十三通行道116-5 地内

2. 敷地面積

㎡

3. 工事種目

(1) 漁業集落排水処理場 R C造 平屋建 改修 1棟

建築面積 5 5 6 . 8 4㎡

延べ面積 4 6 8 . 2 4㎡

1階 4 6 8 . 2 4㎡

(2) 自動車庫一木造一平屋建 改修 1棟

建築面積 〇〇〇.〇〇㎡

延べ面積 〇.〇〇〇.〇〇㎡

(3) 自転車置場一木造一平屋建 改修 1棟

建築面積 〇〇〇.〇〇㎡

延べ面積 〇.〇〇〇.〇〇㎡

(4) 外構一

①門 鉄筋コンクリート造（扉付き） 改修 一式

②間障 ①鉄筋コンクリート造 改修 一式

③屋外排水設備 ①屋外排水設備 改修 一式

④舗装 ①アスファルト舗装（路面表示含む） 改修 一式

⑤舗装 ①坪看板 改修 一式

⑥雑工作物 ①屋外指示板 改修 一式

⑦樹木 移植一式又は伐採・抜根一式

⑧砂利敷き 一式

⑨電気設備（別図仕様書による） 一式

⑩機械設備（別図仕様書による） 一式

4. 指定部分

・有 ・無 対象部分（指定部分工期 年 月 日）

5. 工事範囲

※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。
・「3. 工事種目」のうち 改修 の工事範囲は下記のとおりとする。

1. 屋根改修

（撤去） アスファルトシングル葺き

アスファルトルーフィング

軒先押え見切

（改修） シングル防水 （普通棟加工）

下地調整材塗布

軒先アルミ水切

破風板 下地調整、木材保護塗料塗り

II. 建築改修工事仕様

（1）図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁業務部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版（以下「改修標準仕様書」という。）及び「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版（以下「標準仕様書」という。）によるほか、下記仕様書のうち、○を付けたものを適用する。

○建築工事標準詳細図（令和4年版）（以下「標準詳細図」という。）
・建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）

（2）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は（ / ）図、機械設備工事の特記仕様書は（ / ）図による。

（3）本特記仕様書の表記

1）項目は、○印の付いたものを適用する。

2）特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と○印の付いた場合は、共に適用する。

3）特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

4）特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

5）㊦印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準）を満たすものを示す。

① 各章共通事項

○ 適用区分

○ 施工条件

○ 環境への配慮

○ 材料の品質等

○ 石綿含有建材の調査（調査済）※含有無し

・ 化学物質の濃度測定

・ 埋設配管・配線および鉄筋調査

② 仮設工事

・ 騒音・粉じん等の対策

○ 足場等

○ 既存部分の養生

・ 仮設間仕切り

③ 防水改修工事

○ 施工数量調査

・ 降雨等に対する養生方法（とい共）

○ 既存防水の処理

○ 既存下地の処理

特記事項

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
・風圧力
風速（V0= m/s）
地表面粗度区分（ⅠⅡⅢⅣ）
・積雪荷重
平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域別表（ ）

・施工順序（1.3.5）[1.3.5]
（※現場説明書による・図示）
・工事用車両の駐車場及び資機材の置き場所（・図示）

（1.4.1）[1.4.1]

1）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に次の①から④を満たすものとする。
①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
②接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-nブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
④①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

2）本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
3）備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承認を受ける。
4）標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
5）本工事に使用する材料のうち、5）に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。
①品質及び性能に関する試験データを整備していること。
②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③安定的な供給が可能であること。
④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。

製造業者等に関する資料の提出を求める材料
x11,a0,25,sm1,q1,t0:床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、乾式保護材、既製鋼合モルタル（タイル工用）、既製鋼合目地材、ルーフドレン、吸水調整材、錠前類、クローザー類、自動ドア機構、開閉式吊り引戸機構（手動開き式）、重量シャッター、

sm1,18:重量シャッター、オーバーヘッドドア、防水剤、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、可動間仕切、移動間仕切、トイレブース、煙突用成形、ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、トップライト、屋上緑化システム、ポリマーセメントモルタル、鋼鉄製ふた

調査
※石綿含有建材の事前調査（アスファルトシングル・アスファルトルーフィング）
工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。
賃与資料（・アスベスト関係材料調査票・既存図面）

（1.5.9）[1.7.9]

1）施工完了後、引渡前に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。
2）測定対象室及び測定箇所数等は現場説明書による。
3）測定方法は、現場説明書による。
4）測定結果の報告は、現場説明書による。

あと施工アンカー工事
6章および8章による
コア抜き、はつり工事等
※既存資料調査
・探査機（電磁波レーダー法又は電磁波誘導法）による探査
配管・配線等の位置の墨出を行う
範囲
※図示による
・放射線透過試験
労働安全衛生法、「電離放射線障害防止規制」（昭和47年労働省令第41号）等に定めるところによるほか、次による。
1）作業主任者は、エックス線作業主任者の資格を有するものとし、資格を証明するものとし、資格を証明する資料を監督職員に提出する。
2）放射線照射量は最小限のものとし、照射中は人体に影響のない程度まで照射器より離れる。また、作業者以外の立入禁止措置を講ずる。
3）露出時間は、コンクリートの厚さ等により、適宜調整する。
4）付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を受けるものの有無を確認する。
5）躯体の墨出しは、表裏でズレがないように措置を講ずる。
撮影枚数枚
フィルムサイズ
コンクリート厚さcm

① アスファルト防水

シングル葺き

屋根保護防水（既存）[3.3.2~5]
新設防水層の種類
改修工法新設種別施工箇所断熱材G絶縁用シート※R150mm以上又はポリイソシアヌレート厚さ70g/m2程度
・P2A・A-1
・A-2
・A-3
・B-1
・PIB・B-2
・AⅠ-1
・AⅠ-2
・AⅠ-3
・PIBⅠ・BⅠ-1
・BⅠ-2
(種類)
※JIS A 9521に基づく押出法R150mm断熱材3種bA（スラブ層付き）
(厚さ)(mm)
※JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分※R種
厚さ()mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.3及び表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分※R種
厚さ()mm以上
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ※水下80mm以上

床タイル張り※水下60mm以上

立上り部の保護方法
・乾式保護材（品質・性能、試験方法は別表による）
・産業系パネルⅠ種（厚さ（mm）幅（mm））
・れんが押え（※JIS R 1250）
・コンクリート押え
・モルタル押え（屋内）

屋根露出防水（既存）
新設防水層の種類
改修工法新設種別施工箇所断熱材G仕上塗料種類使用量高日射反射率防水G備考
・M4C・C-1
・C-2
・C-3
・C-4
・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様
※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様
・適用する

・M3D・P0D・D-1
・D-2
・D-3
・D-4
・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様
※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様
・適用する
脱気装置・設ける
改修用ドレン・設ける
・設けない

・P0DⅠ・M3DⅠ・M4DⅠ・DⅠ-1
・DⅠ-2
改修標準仕様書3.3.2(9)
・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様
※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様
・適用する
脱気装置・設ける
改修用ドレン・設ける
・設けない

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分※R種
厚さ()mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.8及び表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分※R種
厚さ()mm以上
絶縁断熱工法のルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示による
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
設置数量※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
（個）

屋内防水
防水層の種類
改修工法種別施工箇所
・P1E・E-1
・P2E・E-2

保護層・設ける（※図示による）
・設けない
E-1の工程3を行う部位
※防水槽、浴室等常時水に接する部位
・
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製L-30×15×2.0mm程度
・
屋上排水溝
※図示による

承認設計担当

縮尺

設計年月日

R07.02

工事名称

十三地区漁業集落排水処理場屋根改修工事

図面名称

特記仕様書ー1

事務所登録番号

第564号

一級建築士登録番号

123056号

今 償次

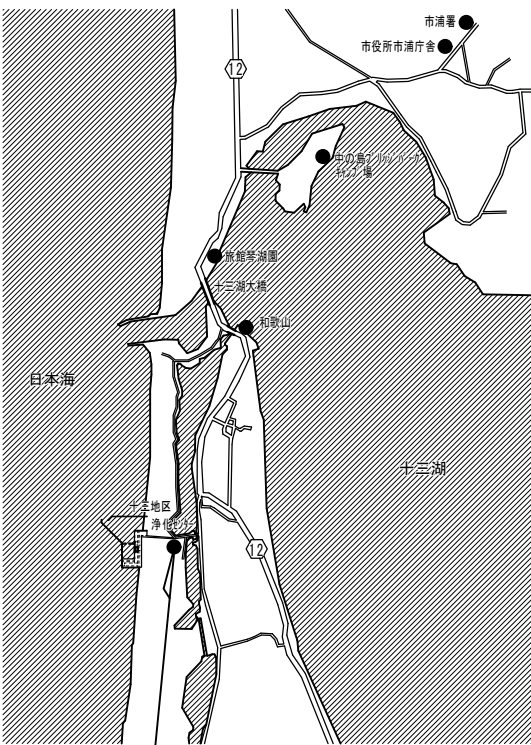
〒037-0044 青森県五所川原市字元町47-6 TEL 0173 (34) 4505

A-O1

No.

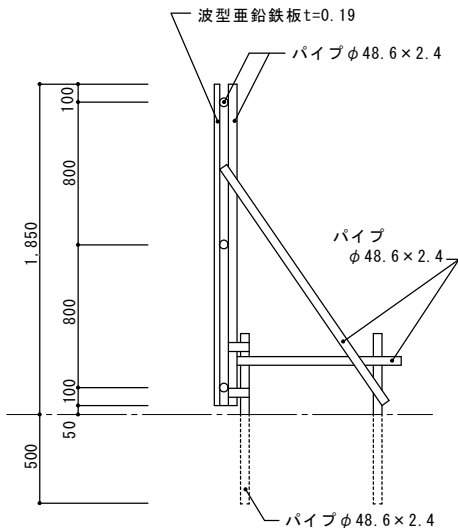
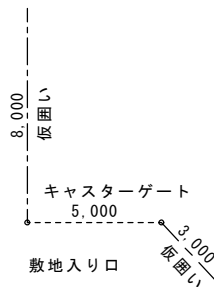
[illegible]

外部仕上表			
	改修前（撤去範囲）		材料仕様程度
屋根改修	屋根：均しモルタル30mm＋ <div>アスファルトルーフィング940＋アスファルトシングル葺</div>	赤枠 撤去	マルエスシングル SS-6S 日新工業株式会社 セメント系下地調整材 フィットリーチ 日新工業株式会社
	棟包：均しモルタル30mm＋ <div>アスファルトルーフィング940＋アスファルトシングル葺</div>		
	下棟：均しモルタル30mm＋ <div>アスファルトルーフィング940＋アスファルトシングル葺</div>		
破風改修	破風：木製30×300	<div>シングル防水押え水切</div> 赤枠 撤去	破風：木製30×300上に、 <div>下地調整(RB種)</div> ＋ <div>木材保護塗料塗り(A種)</div> 赤枠 改修 <div>軒先アルミ水切</div> 赤枠 改修
石綿の事前調査結果報告	「石綿の事前調査結果の報告」を施工業者(元請事業者)が作成提出する 調査済分析対象(2検体) 屋根: <div>アスファルトルーフィング</div> (アスベスト含有 有・ <div>無</div>) 屋根: <div>シングル葺</div> (アスベスト含有 有・ <div>無</div>)		



申請地：五所川原市十三通行道116-5 地先

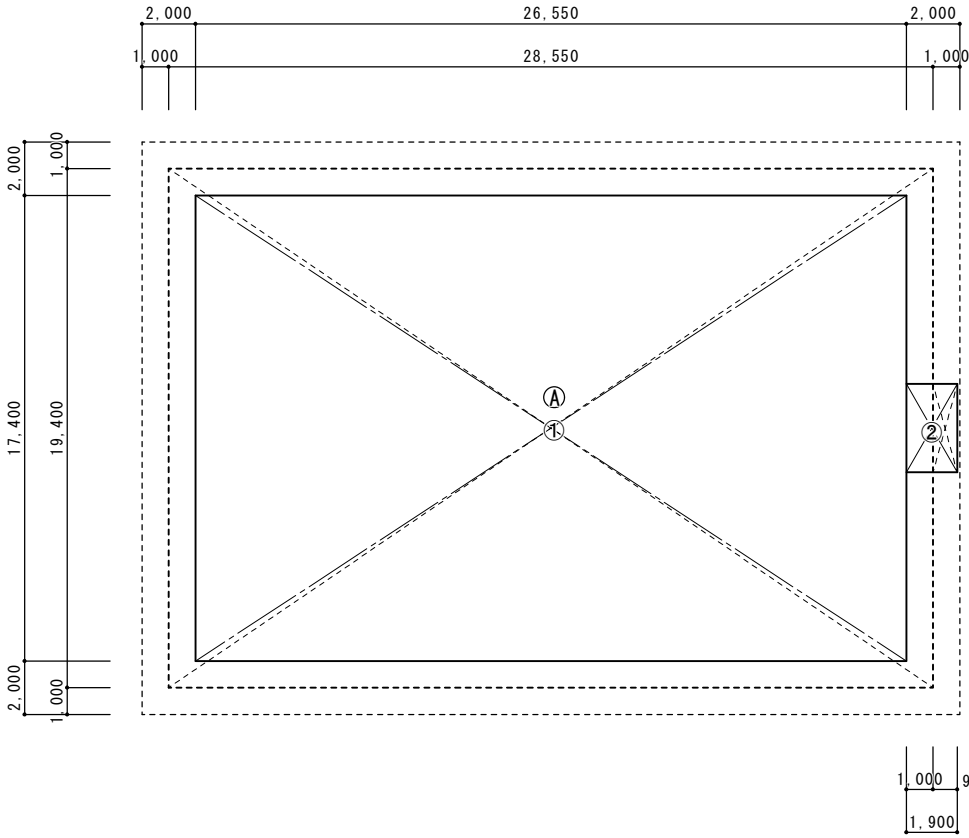
案内図



仮囲(波型亜鉛鉄板)詳細図 S=1/30

仮設計画	
キャスターゲート	W=5,000 H=1,800 1ヶ所 (損料3か月掛け払い共)
仮囲い	波型亜鉛鉄板 H=1.85m 全長 11m

建物求積図・求積表



建物求積図 1/200

面積表	
床面積	468.24㎡
建築面積	556.84㎡

求積表

①	26.550 × 17.400 = 461.970
②	1.900 × 3.300 = 6.270
Ⓐ	28.550 × 19.400 = 553.870
Ⓑ	0.900 × 3.300 = 2.970

床面積

① + ②
461.970 + 6.270 = 468.240 → 468.24

建築面積

Ⓐ + Ⓑ
553.870 + 2.970 = 556.840 → 556.84

KON 建築デザイン事務所

事務所登録番号 第564号

一級建築士登録番号123056号 今 信次

〒037-0044 青森県五所川原市字元町47-6 TEL 0173 (34) 4505

承認	設計	担当	

縮尺

1/30 1/200

設計年月日

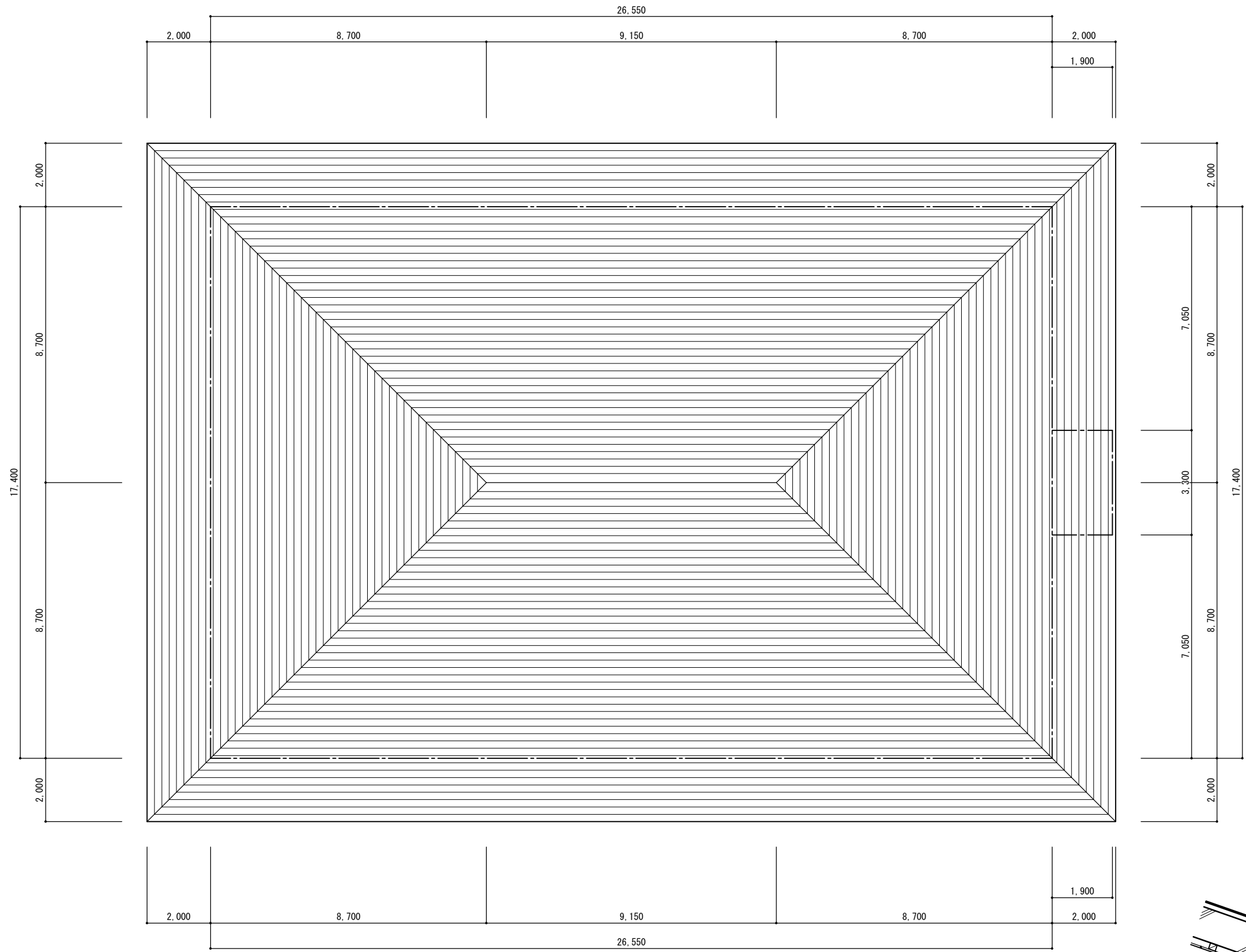
R07.02

工事名称 十三地区漁業集落排水処理場屋根改修工事

図面名称 外部仕上表・案内図・建物求積図・求積表

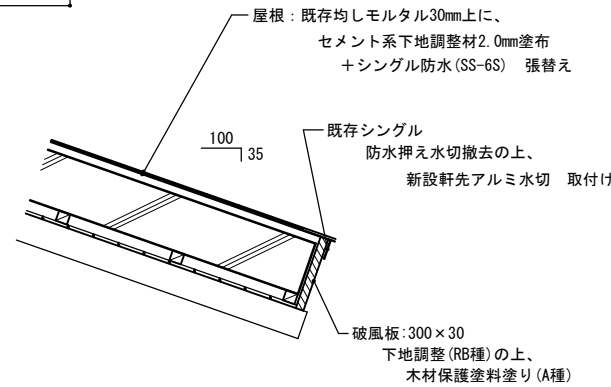
A-03

No.



既存アスファルトシングル葺、アスファルトルーフィング撤去の上、
屋根：既存均しモルタル30mm上に、セメント系下地調整材2.0mm塗布＋シングル防水（SS-6S）張替え
棟包・下棟：既存均しモルタル30mm上に、セメント系下地調整材2.0mm塗布＋シングル防水（SS-6S）普通棟加工 張替え

屋根平面図 1 / 100



軒先廻り詳細図 1 / 20

KON 建築デザイン事務所

事務所登録番号 第564号

一級建築士登録番号123056号 今 信次

〒037-0044 青森県五所川原市字元町47-6 TEL 0173 (34) 4505

承認 設計 担当

縮尺

1/100 1/20

設計年月日

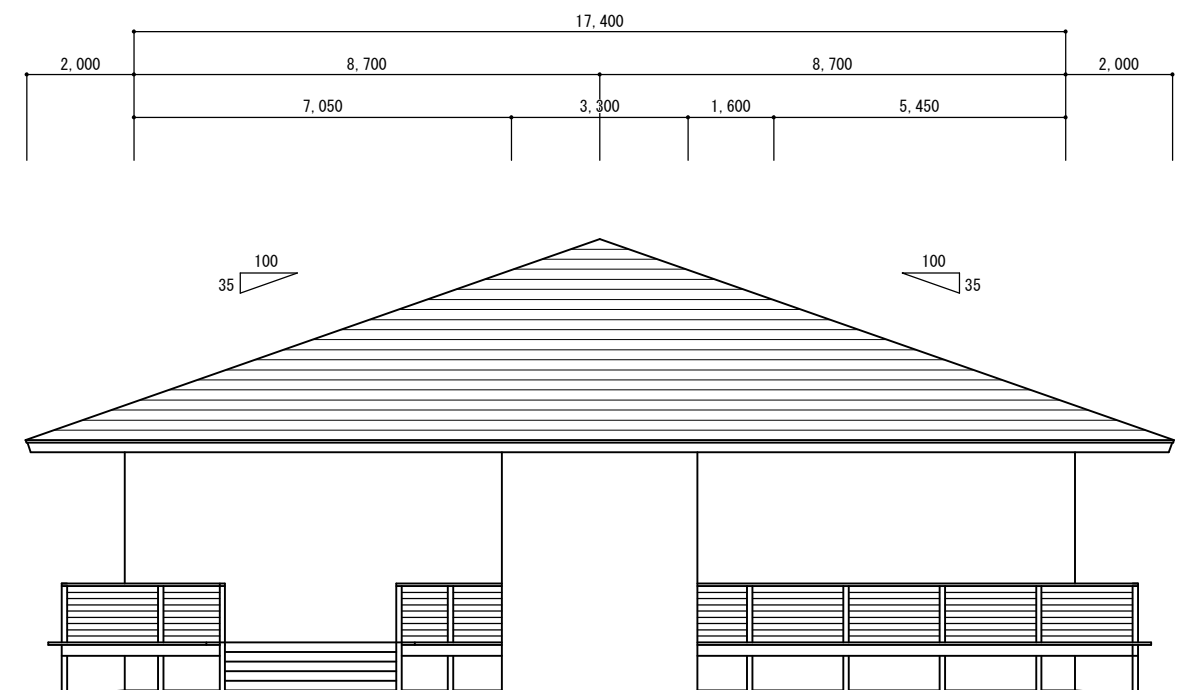
R07.02

工事名称 十三地区漁業集落排水処理場屋根改修工事

図面名称 屋根平面図

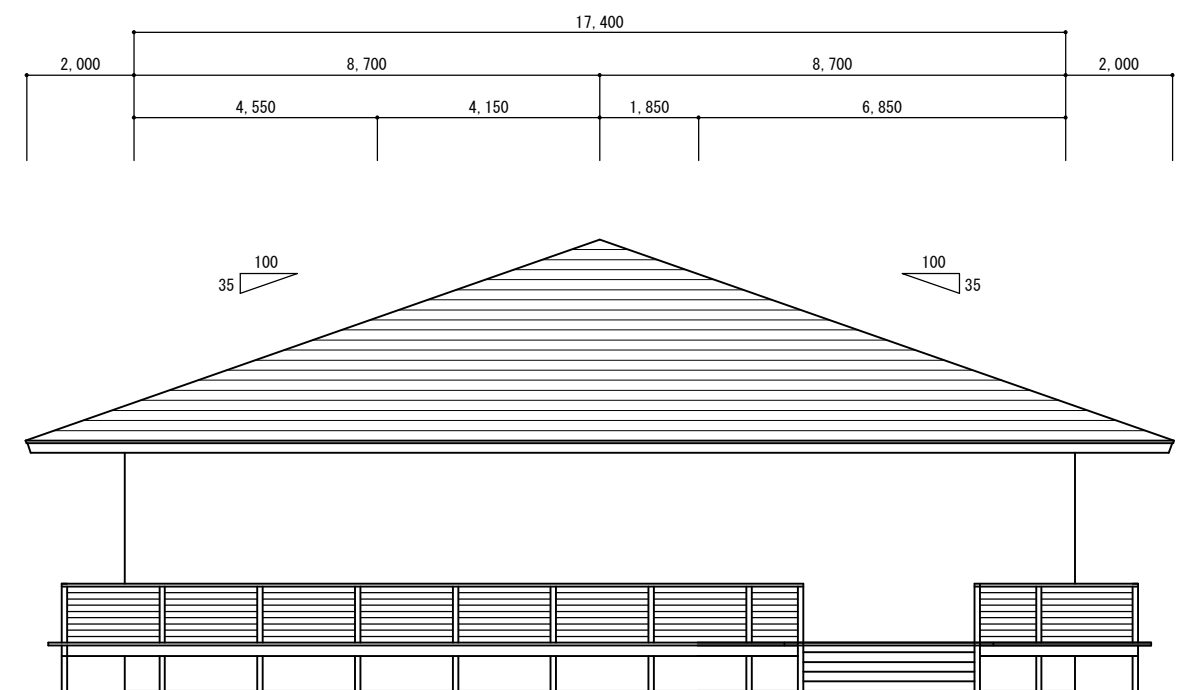
A-04

No.



北側立面図 1 / 100

破風：木製30×300上に、下地調整(RB種)+木材保護塗料塗り(A種)



南側立面図 1 / 1 0 0